

フリーのバウンスメール解析システム BounceHammer を公開

あらゆるバウンスメールの解析・集積・維持・管理

2010年3月8日、株式会社キュービックルート(本社:京都市中京区)は、フリーのバウンスメール解析システム“BounceHammer(バウンスハンマー)”の最新版2.0.0をオープンソースライセンスで公開しました。また、同時に BounceHammer のウェブサイト <http://bouncehammer.jp/> を開設しました。

BounceHammer は、エラーで差し戻された電子メール(バウンスメール)を解析し、エラー理由の特定や宛先の分類を行うバウンスメール解析システムです。このシステムは GNU GPL version 2 または Artistic License の択一オープンソースライセンスにて提供されていて、無償で利用が出来ます。

バウンスメールをメタデータ化

BounceHammer は、バウンスメールを解析し、発信者のメールアドレス、受信者のメールアドレス、宛先の分類(携帯電話、Webmail、PC等)を行い、バウンスの理由(宛先不明、フィルタによる拒否、メールボックスがいっぱい、等)を決定します。これらバウンスメールから取り出した解析結果は YAML 形式でバウンス記録として保存されます。

蓄積されたデータと再利用

BounceHammer は、YAML 形式として保存した解析結果を、データベースに蓄積を行います。継続的にデータベースに蓄積する事によって、バウンスが発生した日時や回数が更新されます。データベースに蓄積されたバウンス記録は、同じく YAML 形式で得る事が可能です。YAML 形式のデータは、他のプログラム等で読み出しやすいので、ウェブサイトのユーザデータベースとメールアドレスを照合したり、集計を行ってバウンス発生傾向を分析したりして電子メールアドレス管理を中心とした有効な活用が可能です。

日本国内の携帯電話メールにも対応

BounceHammer は、PC や Webmail は勿論、日本国内の主要な携帯電話キャリア3社の返すバウンスメールの解析にも対応していますので、多くのユーザを抱えるモバイルサイトのユーザ管理やメールアドレスの整理にも役立つシステムとなっています。

ダウンロードとインストール、導入、サポート

BounceHammer はウェブサイト <http://bouncehammer.jp/> からダウンロード可能です。また、機能の紹介・解説、インストール方法、設定方法も同サイトにて確認できます。

また、BounceHammer の開発元である株式会社キュービックルート下記に列挙するサービス・サポートを提供しています。

- ✓ BounceHammer のインストールを含めた導入代行サービス
- ✓ 電子メールまたはリモートログインによる技術的なサポート
- ✓ バウンスメールを送って頂いて解析結果を返送するデータ作成サービス

株式会社キュービックルートについて

- ✓ 会社名: 株式会社キュービックルート (英語表記: Cubicroot Co. Ltd.)
- ✓ 所在地: 京都市中京区六角通室町西入ル玉蔵町 123 番地 AMI 六角室町 201
- ✓ 代表者: 東 邦之
- ✓ 設立年: 2008 年 5 月
- ✓ 問合せ先: info@cubicroot.jp
- ✓ サイト: <http://cubicroot.jp/>

